

# CITIZEN

モバイルプリンター

CMP-20(II) / 30(II) (ESC/POS, CPCL)

Windowsドライバーマニュアル

Ver. 1.04

シチズン・システムズ株式会社

#### ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、事前の予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしました。が、万一誤り・お気づきの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 上記に同意いただけない場合は、本ドライバーをご使用いただけません。

#### 商標

Microsoft、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows 7、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 10、Visual Basic、Visual C++、Visual C#.Net、Microsoft Word、Microsoft Access、TrueTypeは米国マイクロソフト社の登録商標です。  
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 目次

1、このマニュアルについて .....	3
2、サポートするOSについて .....	3
3、ドライバーのインストール .....	3
3-1 インストールの準備.....	3
3-2 USBでのインストール .....	4
3-3 シリアル、Bluetoothまたは、無線LAN用のインストール.....	8
3-4 シリアルポートの設定 .....	12
4、ドライバーの削除 .....	15
5、Receipt用ドライバー（ESC/POS） .....	17
5-1 ドライバーの機能 .....	17
5-2 ドライバーのデバイスフォント .....	28
6、Label用ドライバー（CPCL） .....	31
6-1 ドライバーの機能 .....	31
6-2 デバイスフォント .....	34

## 1、このマニュアルについて

本文書はCMP-20, CMP-30, CMP-20II, CMP-30II のWindowsドライバーのインストール、アンインストール、特殊機能とアプリでの使用について説明します。

CMP-20はESC/POSエミュレーションだけをサポートしており、CMP-20II/30/30IIは、ESC/POSとCPCLのエミュレーションをサポートしています。

ドライバーの機能はエミュレーションごとに違いますので、CPCLの説明は、CMP-30 Labelで行い、ESC/POSの説明は、CMP-30 Receiptで行います。

タイプ2（CMP-20II、CMP-30II）とタイプ1（CMP-20、CMP-30）は同じドライバーを使用します。

## 2、サポートするOSについて

本文書で説明するドライバーは以下のOSをサポートしています。

Microsoft Windows 2000

Microsoft Windows XP

Microsoft Windows 2003 Server

Microsoft Windows Vista

Microsoft Windows 2008 Server

Microsoft Windows 7

Microsoft Windows 8

Microsoft Windows 10

Microsoft Windows 2012 Server

上記以外のドライバーのインストールも可能です。

## 3、ドライバーのインストール

### 3-1 インストールの準備

プリンターに同梱されたCD-ROMにWindowsドライバーは掲載されています。

最新のドライバーは、弊社のホームページからもダウンロードしてください。

インターフェースがBluetooth、シリアル、無線LANだった場合は、インストール前にCOMポートやIPアドレスの設定を調べておいてください。シリアルポートの設定はセルフ印字で確認できます。

CD-ROMやダウンロードしたファイルからCMP-x0WinDriverxxxJPN.exeファイルを実行してください。(x0部は、20か30で、xxx部はバージョンが入ります。).

CMP-20IIと30、30IIでは、エミュレーションとしてESC/POSかCPCLの選択ができます。

ESC/POS用のドライバーの名前には Receiptと付き、CPCL用のドライバーにはLabelとつきます。

プリンターのエミュレーション設定とドライバーの組合せが正しくないと正しく印刷できません。

### 3-2 USBでのインストール

以下はWindows7に基づく説明ですが、他のOSもほぼ同様なステップです。

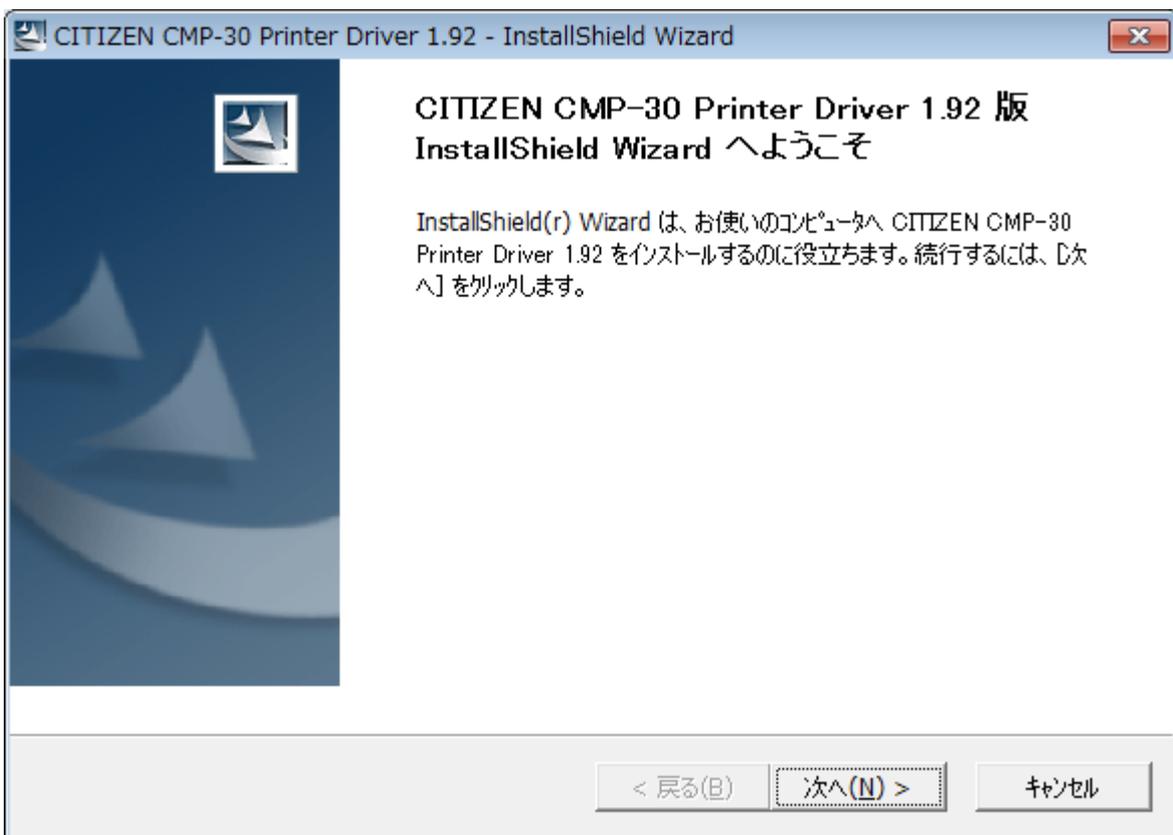
プリンターがPCに接続されていたら、一旦接続を外してください。

その上で「CMP-30WinDriverxxxxJ.exe」をダブルクリックし、インストールを開始します。

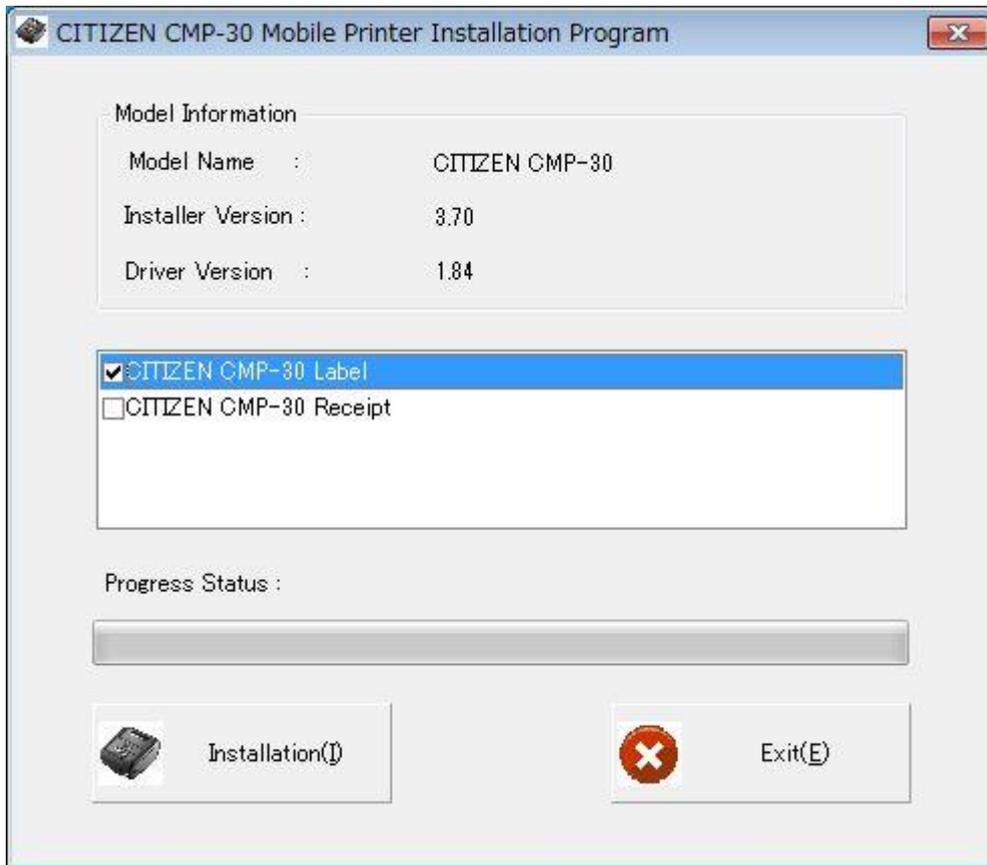
ユーザーアカウント制御の画面になるので「はい」を選びます。

下の画面が出たら「次へ」を押します。これで、ドライバーファイルのPCへのコピーが始まります。

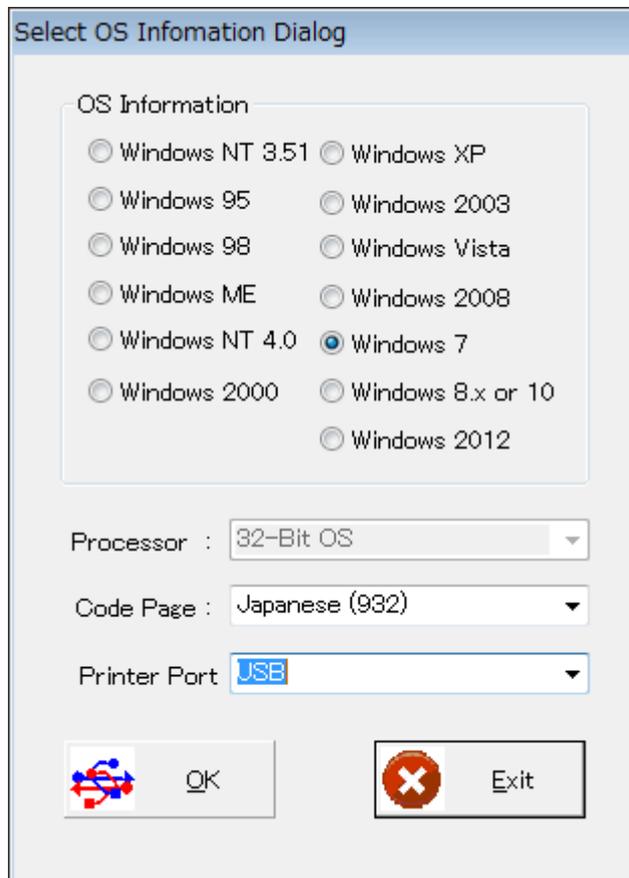
コピー先のフォルダーは、CMP-30であれば「C:\¥CMP-30 1.X」です。



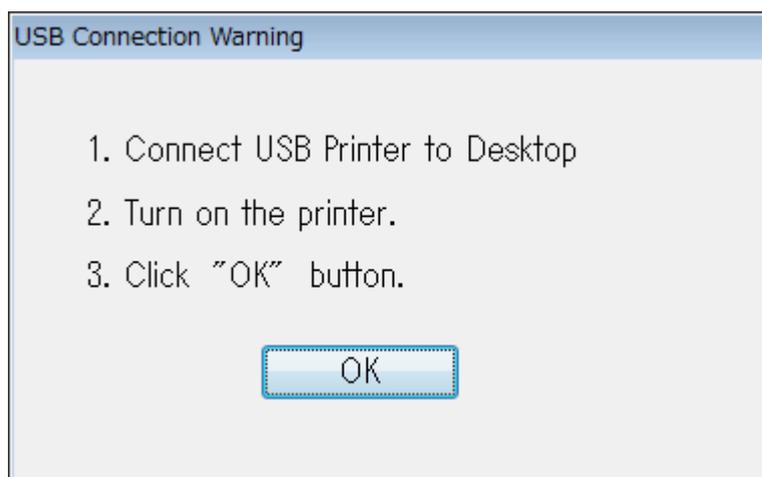
下の画面が出たら、「CITIZEN CMP-30 Label」または、「CITIZEN CMP-30 Receipt」を選び、「Installation」を押します。両方を選ぶこともできます。



USBを選択し、「OK」を押してください。自動的にドライバーのインストールが始まります。



以下の画面が出たら、プリンターをONにし、USBでPCに接続したところで、「OK」を押します。.

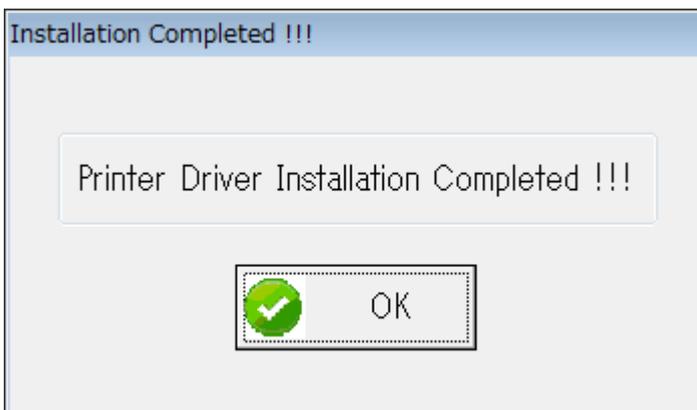


以下の画面が出たら、「インストール」を選択します。



同じ問合せがもう一度来たら、再度「インストール」を選んで下さい。

以下の画面が出て、インストールは終わりです。



### 3-3 シリアル、Bluetoothまたは、無線LAN用のインストール

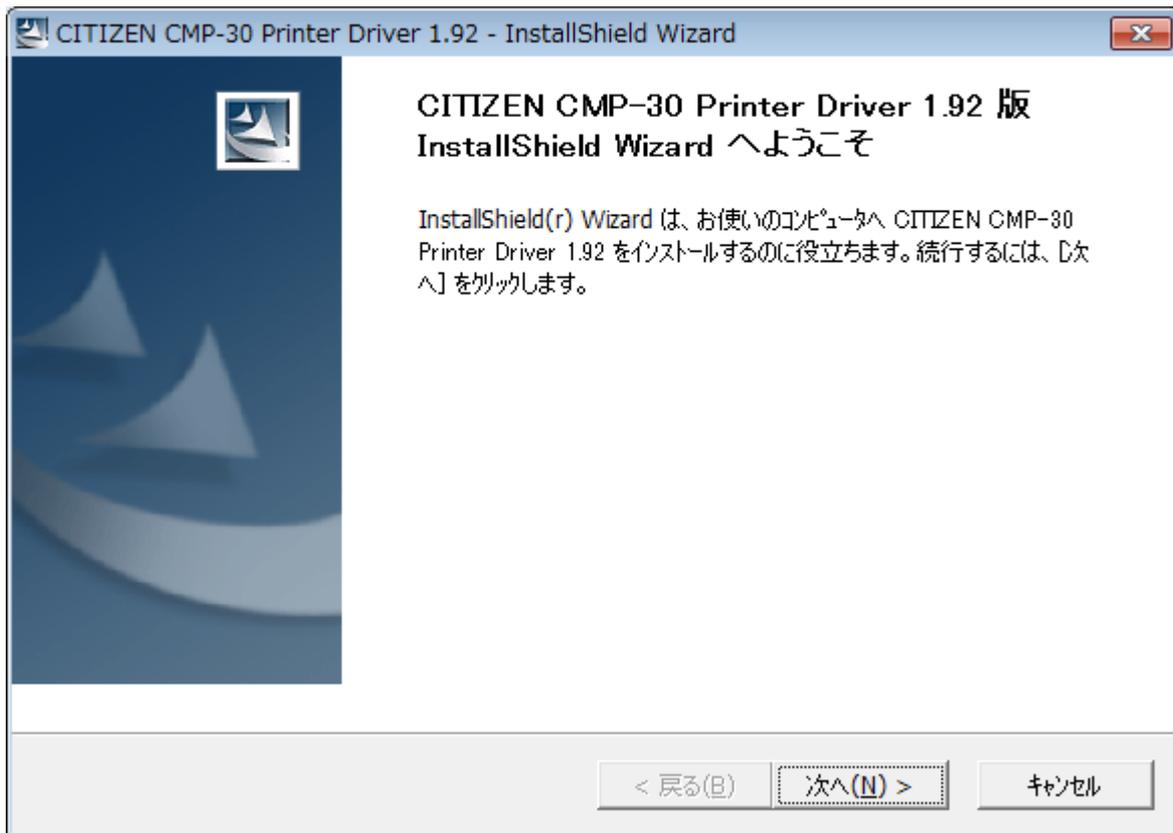
以下はWindows7に基づく説明ですが、他のOSもほぼ同様なステップです。

「CMP-30WinDriverxxxxJ.exe」をダブルクリックし、インストールを開始します。

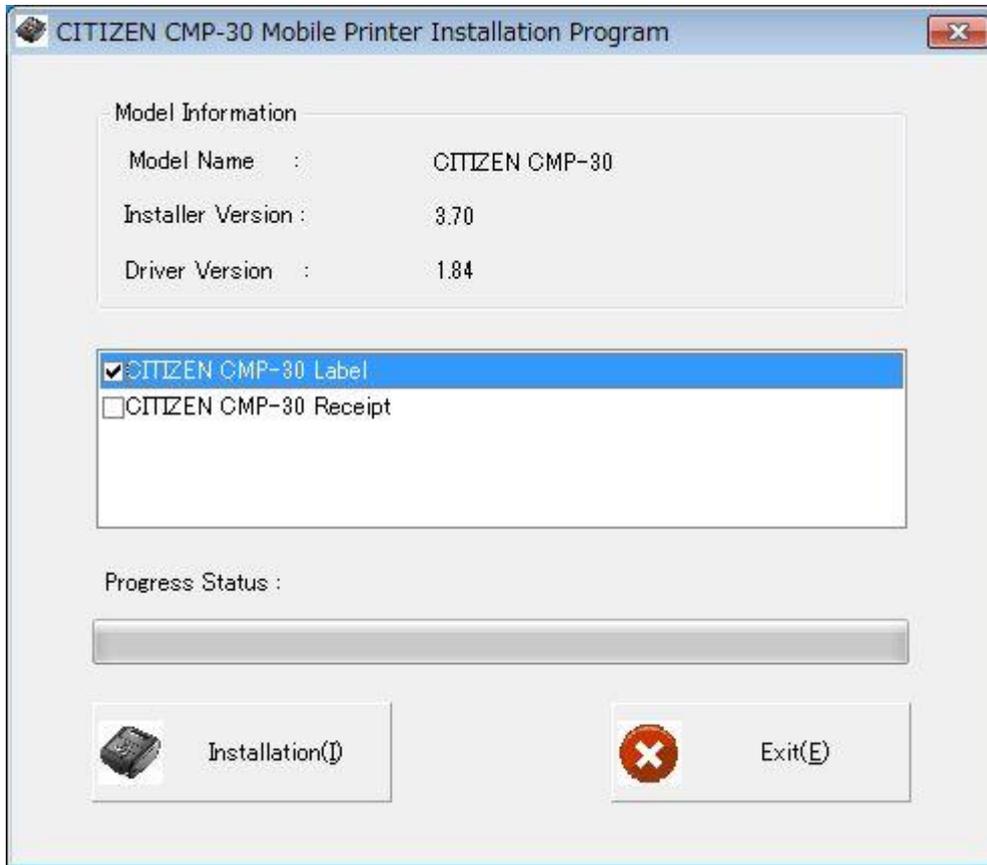
ユーザーアカウント制御の画面になるので「はい」を選びます。

下の画面が出たら「次へ」を押します。これで、ドライバーファイルのPCへのコピーが始まります。

コピー先のフォルダーは、CMP-30であれば「C:\¥CMP-30 1.X」です。



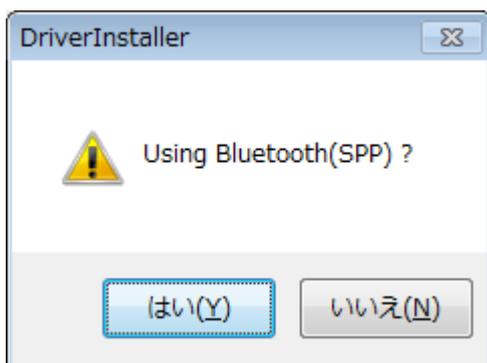
下の画面が出たら、「CITIZEN CMP-30 Label」または、「CITIZEN CMP-30 Receipt」を選び、「Installation」を押します。両方を選ぶこともできます。



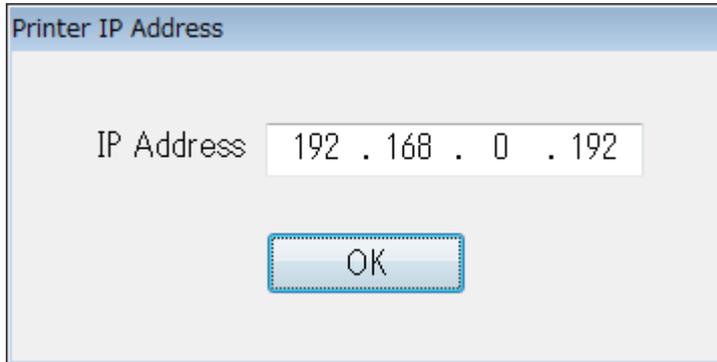
ポートを選び、「OK」を押します。これでドライバーのインストールが始まります。



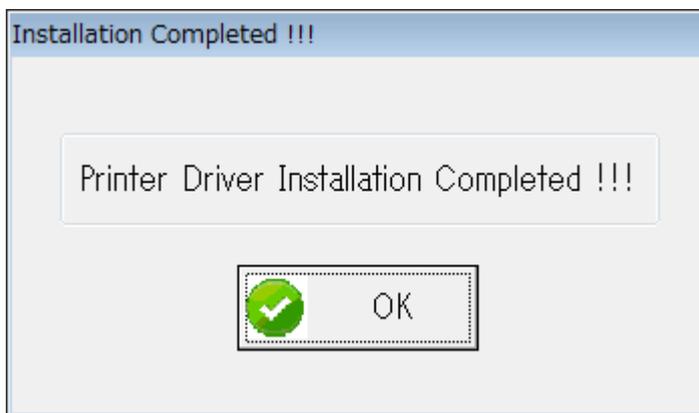
COMポートを選ぶと、以下のメッセージが来るのでBluetoothの場合は「はい」、それ以外は「いいえ」をか選択します。



TCP/IPを選ぶと以下の問合せが来るので、IPアドレスを指定して下さい。

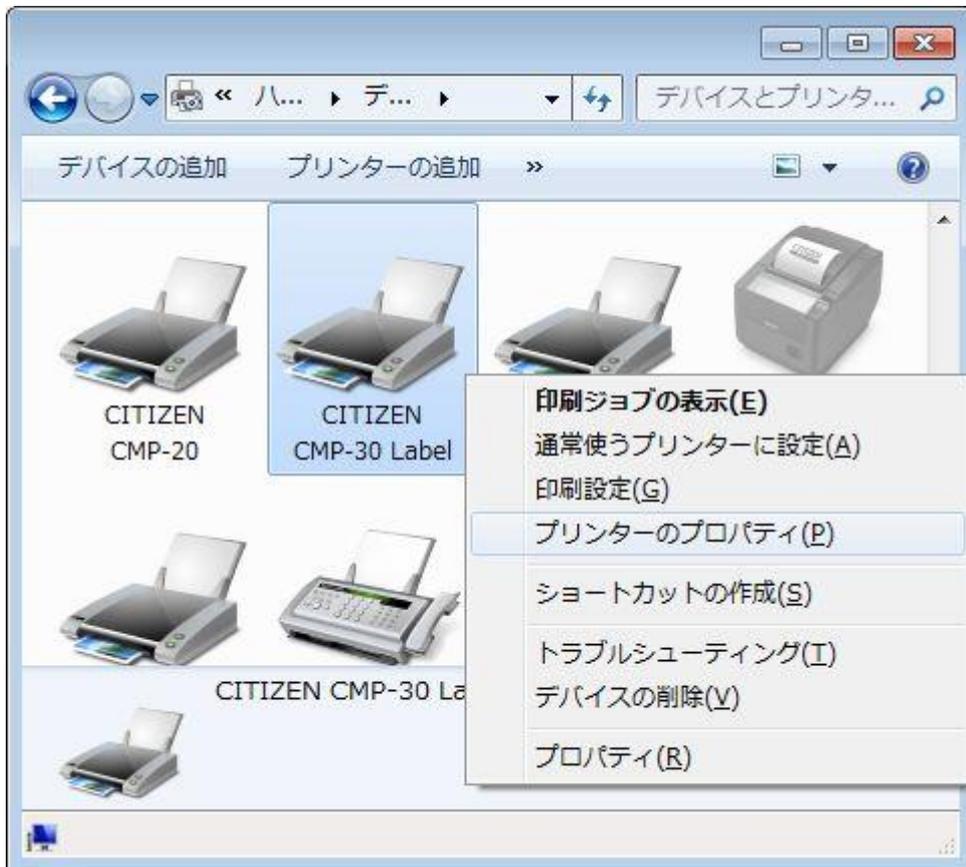


以下の画面が出て、インストールは終わりです。

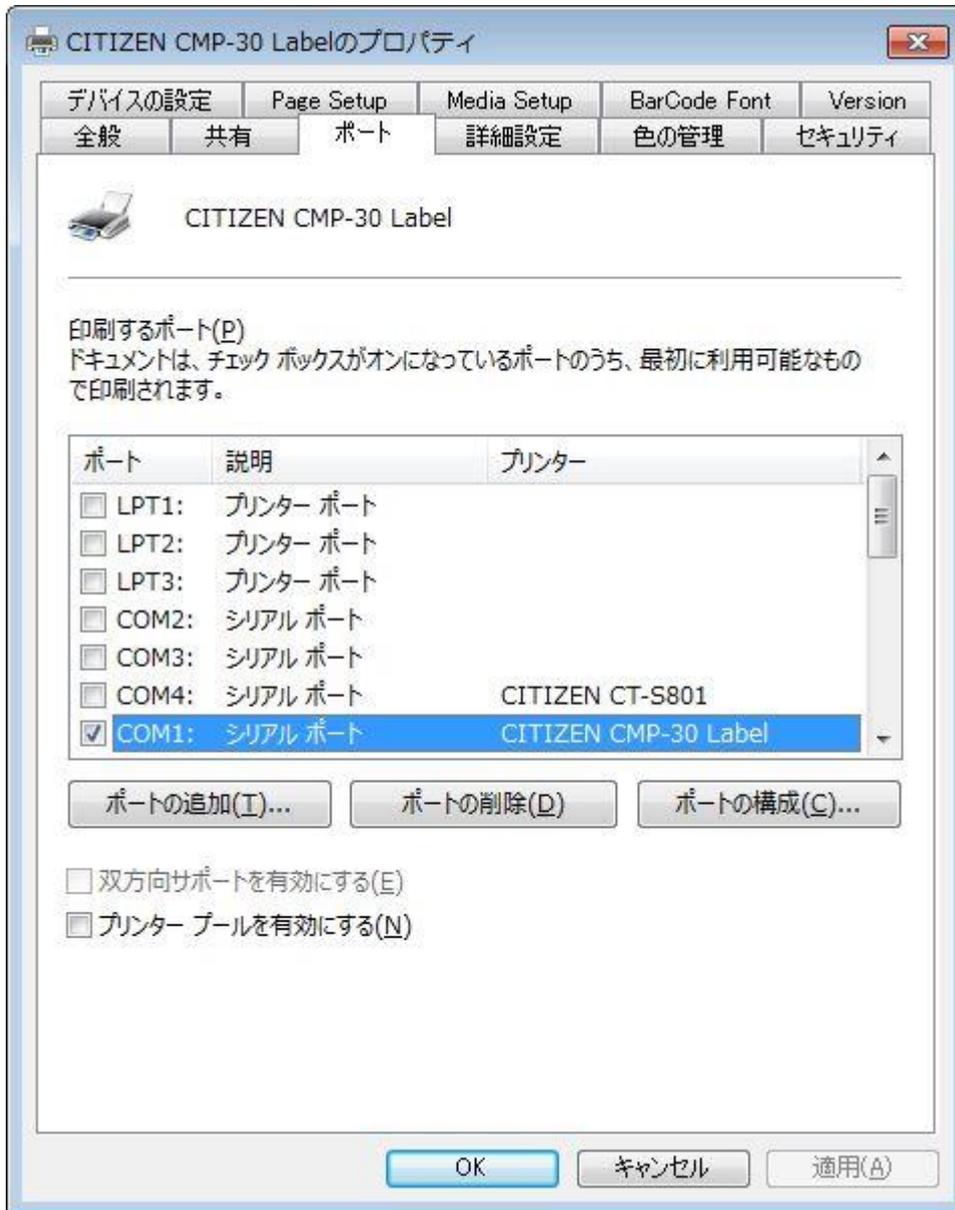


### 3-4 シリアルポートの設定

デバイスとプリンターに移動し、ドライバーを選択、右クリックでプリンターのプロパティを選びます。



「ポート」タブで「ポートの構成」を押してください。

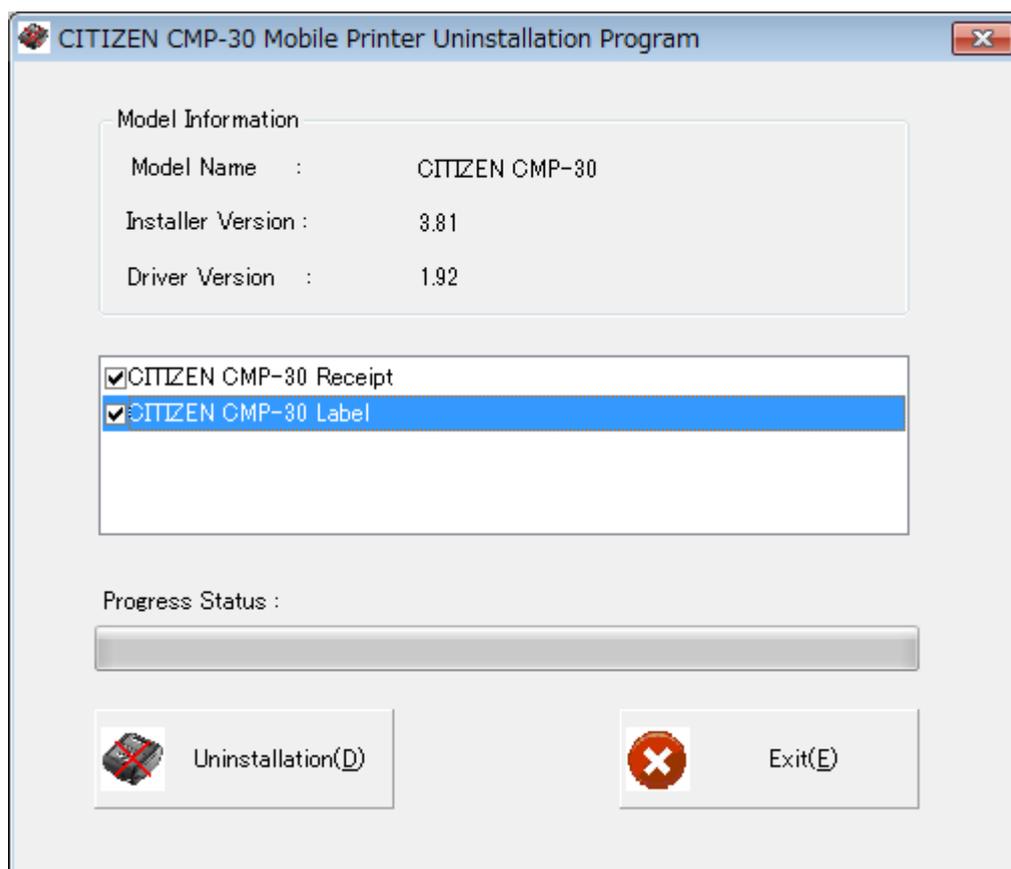


ボーレート（ビット/秒） データビット、パリティ、ストップビット、フロー制御をプリンターの設定に合わせてください。プリンター側の設定はセルフ印字にて確認できます。

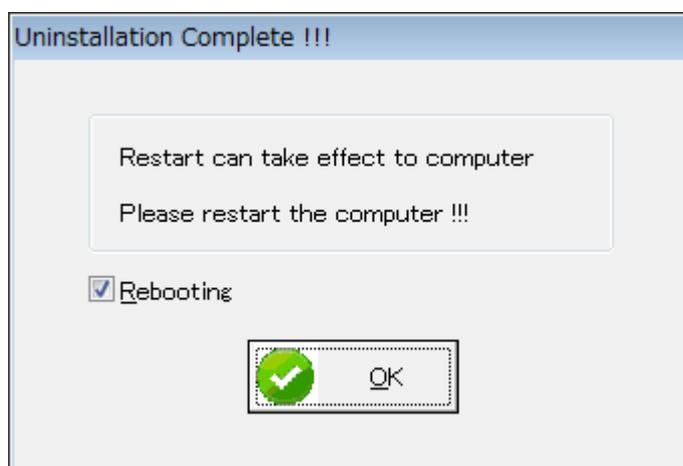


#### 4、ドライバーの削除

- 1) “C:\¥CMP-30 1.X” フォルダーに移動し、DriverUninstaller.exe. を実行してください。  
プログラムのアンインストールと変更の画面からも削除が可能です。
- 2) 削除するドライバーを選び、“Uninstallation(D)” ボタンを押します。  
(両方のドライバーを一度削除することも可能です。)



- 3) OKを押して削除を完了してください。



Rebootingにチェックが入っていると、PCが再起動します。

## 5、Receipt用ドライバー（ESC/POS）

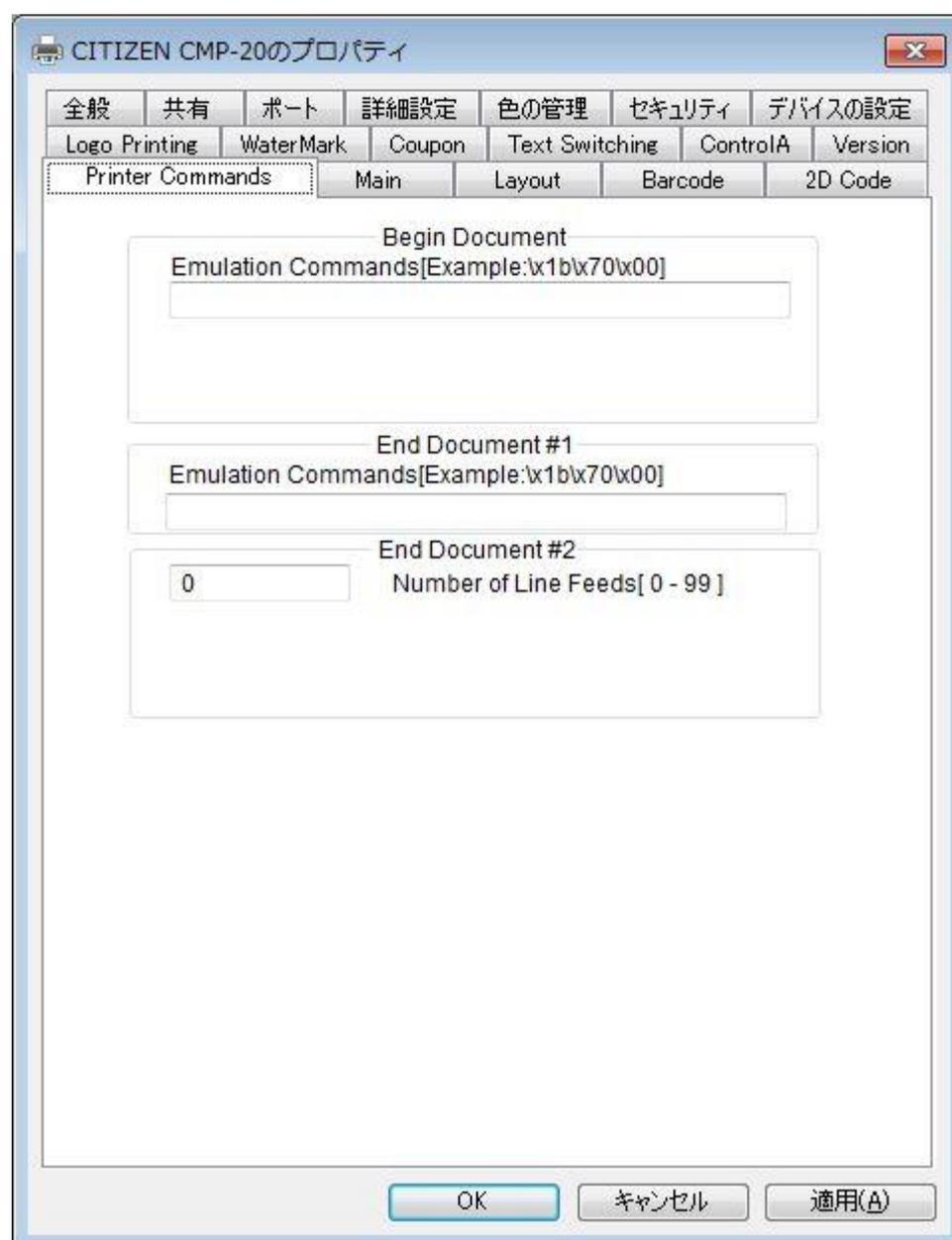
### 5-1 ドライバーの機能

#### 5-1-1 プリンターコマンド

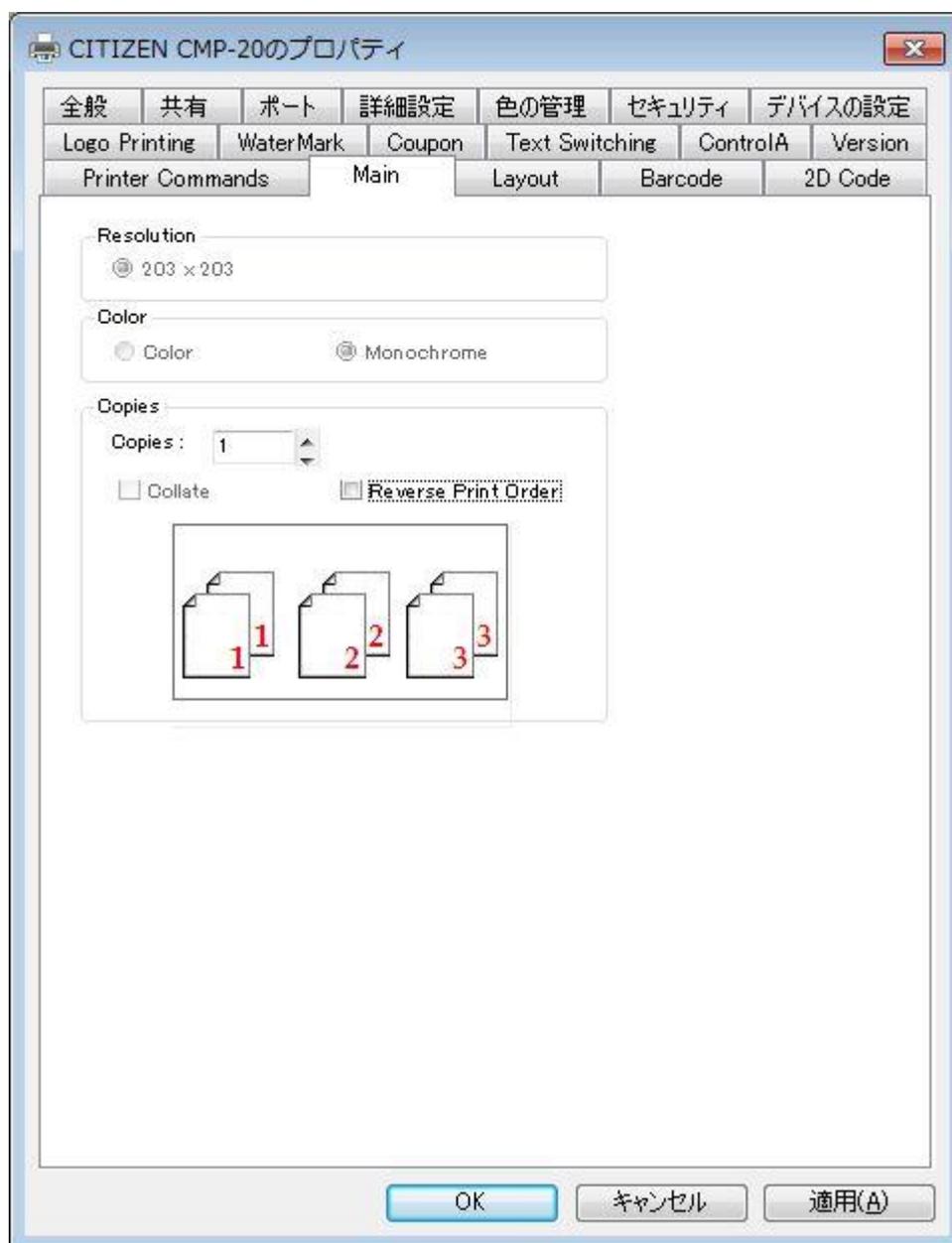
印刷の先頭と最後にコマンドを追加することができます。

Begin Document が印刷の先頭、End Documentが印刷の最後に実行されます。

最後の改行量も指定できます。

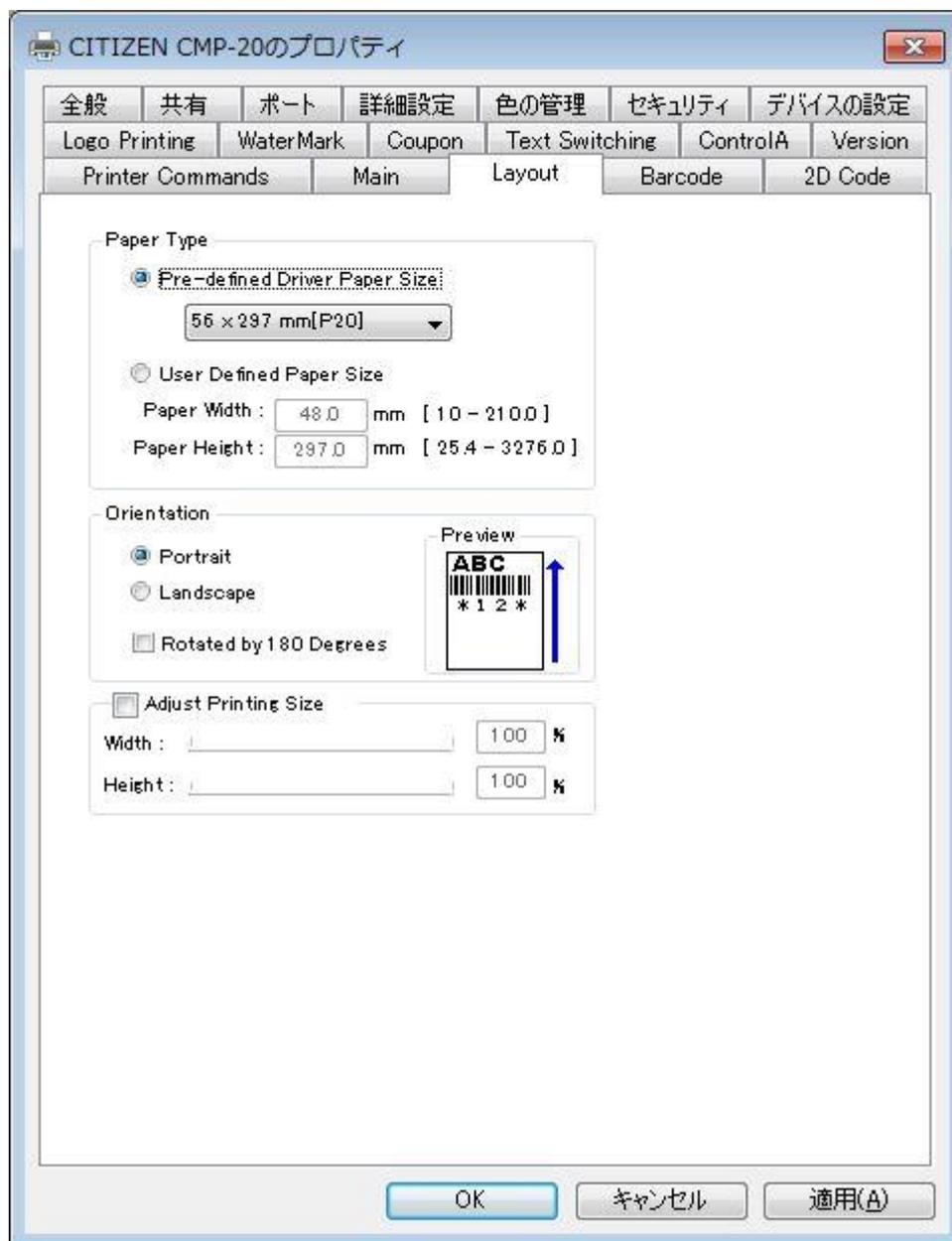


## 5-1-2 印刷ページ順序



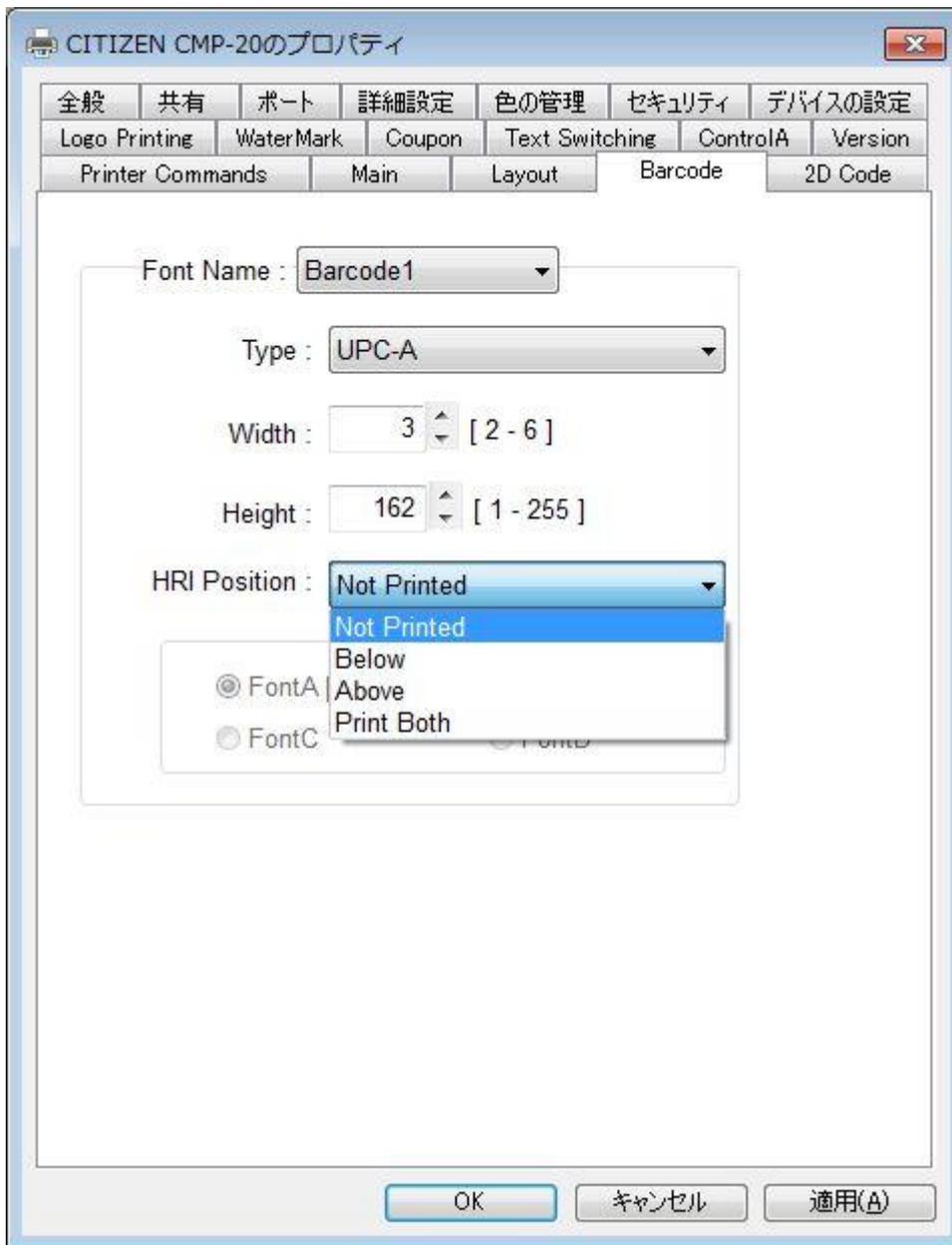
複数ページにわたる印刷、複数部数を印刷する場合、印刷するページの順序を指定できます。  
逆のページ順で印刷する場合は、Reverse Print Orderを選んでください。

## 5-1-3 印刷方向、サイズ調整



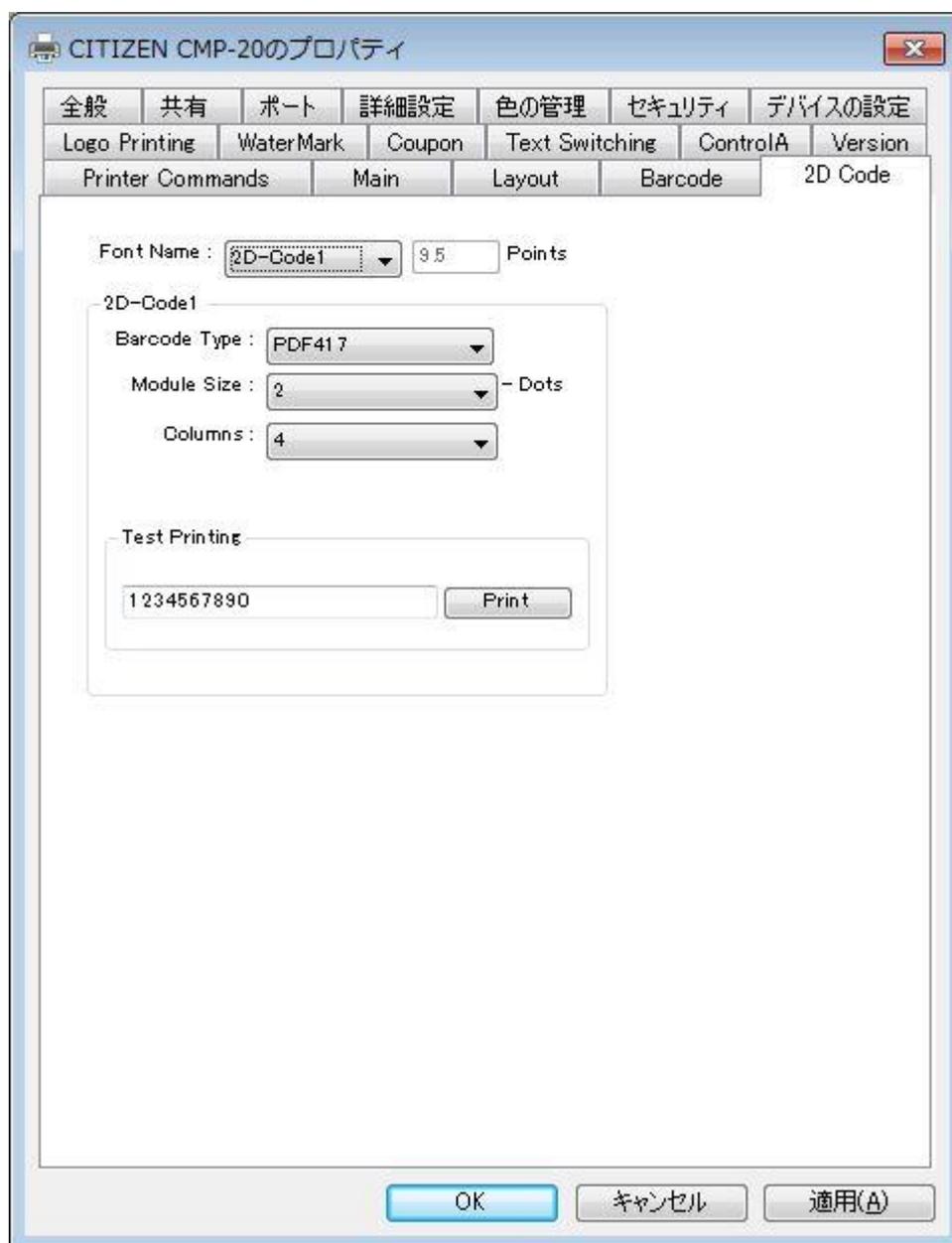
使用する用紙サイズを選択、カスタム用紙サイズの設定、用紙の方向と回転、サイズ調整を指定することが出来ます。

## 5-1-4 バーコードフォント設定



Barcode1からBarcode8のバーコードフォントにそれぞれ、バーコードの種類、サイズ、可視コードの位置などを設定できます。

## 5-1-5 二次元バーコードフォント設定



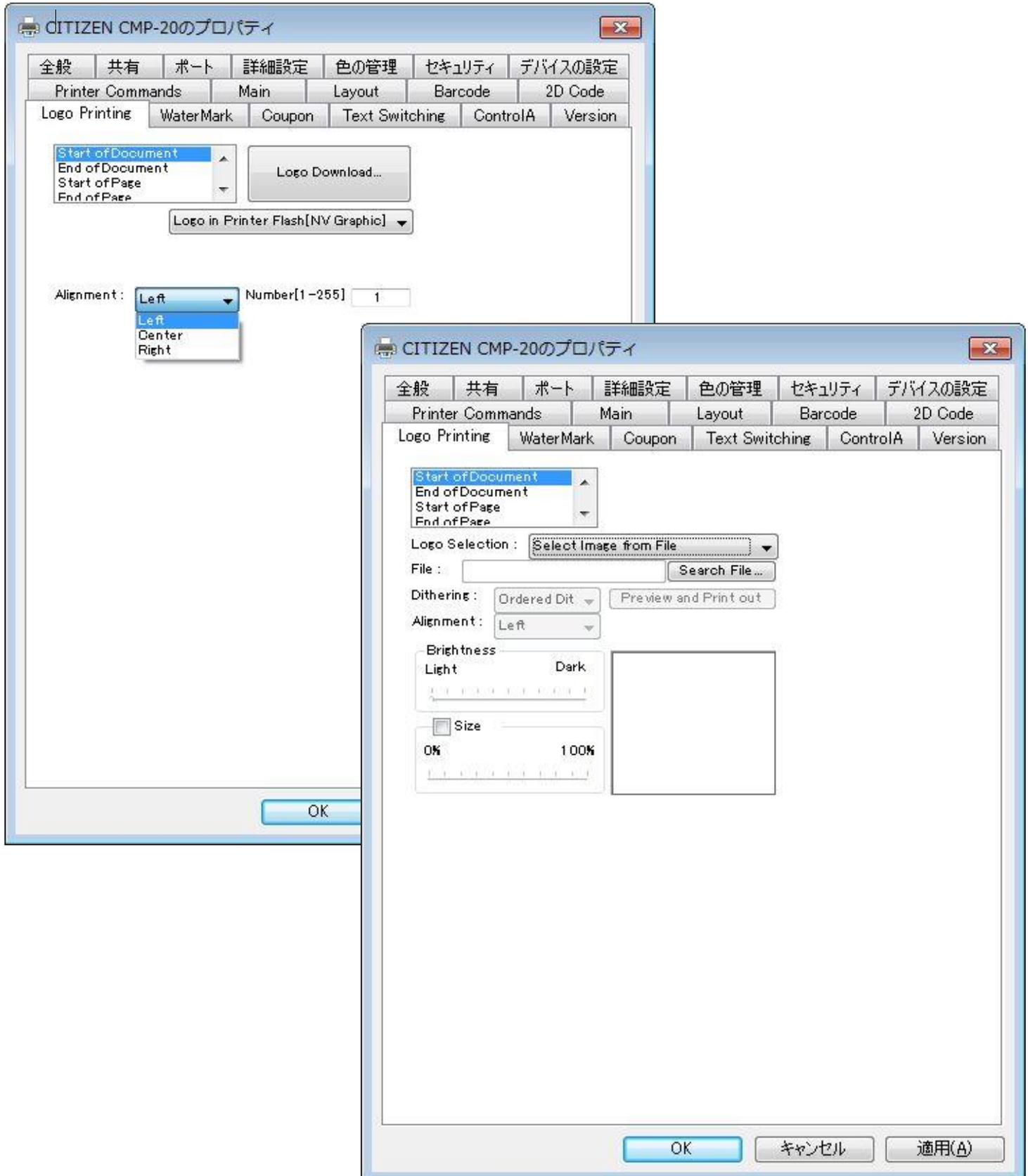
2D-Code1から2D-Code8のそれぞれの二次元バーコードフォントにバーコードの種類モジュールサイズ、桁数、などを設定できます。

### 5-1-6 ロゴ印刷設定

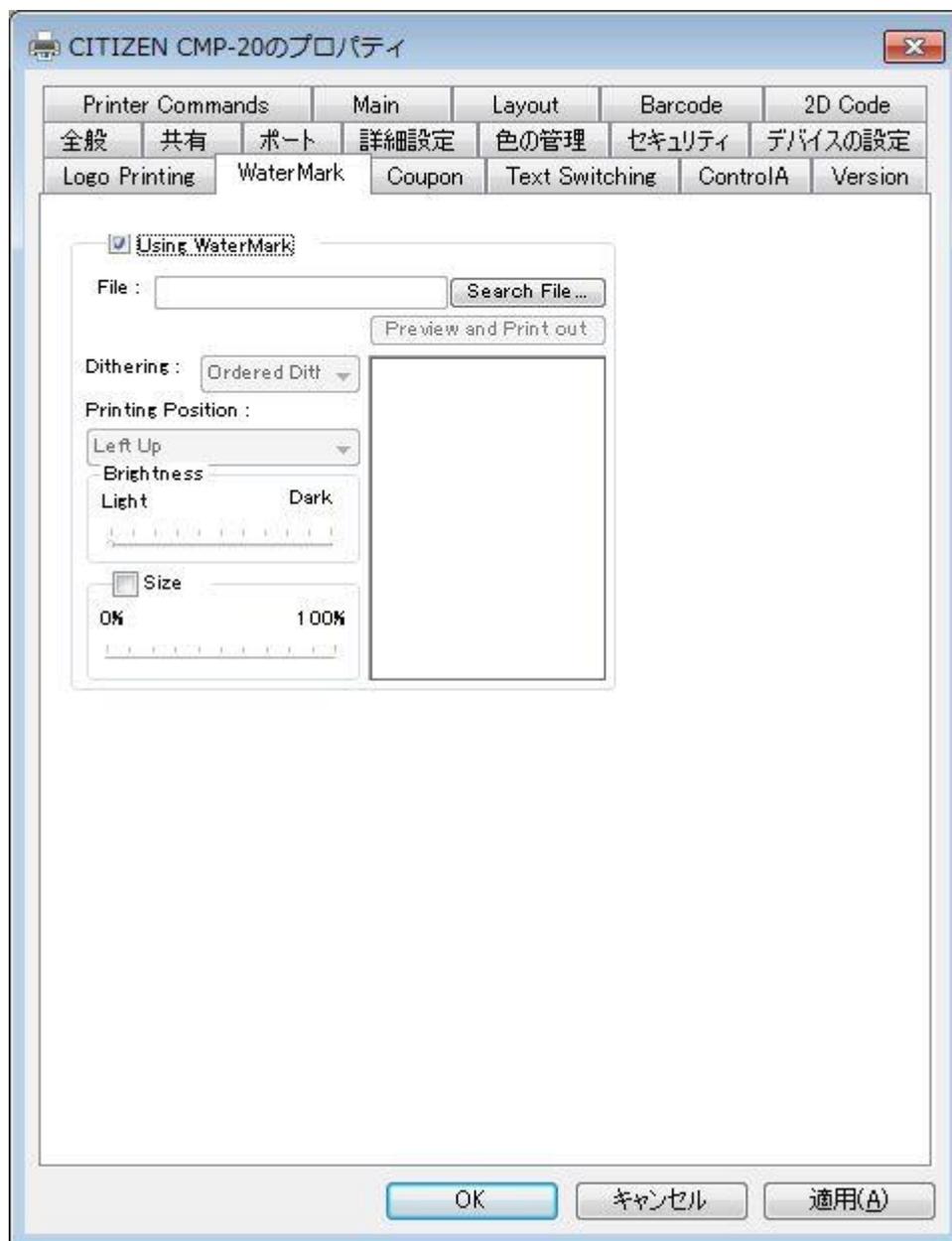
NVメモリーに登録されたロゴデータか、BMPファイルを印刷できます。NVデータでは、印刷の左右位置を指定できます。BMPファイルでは、ディザリングの種類、左右位置、濃度、サイズなどが指定できます。

印刷のタイミングとしてページの先頭/最後、またはドキュメントの先頭/最後が指定できます。

NVロゴ登録ツールがドライバーと同時にインストールされ、「Logo Download」ボタンで呼び出されます。

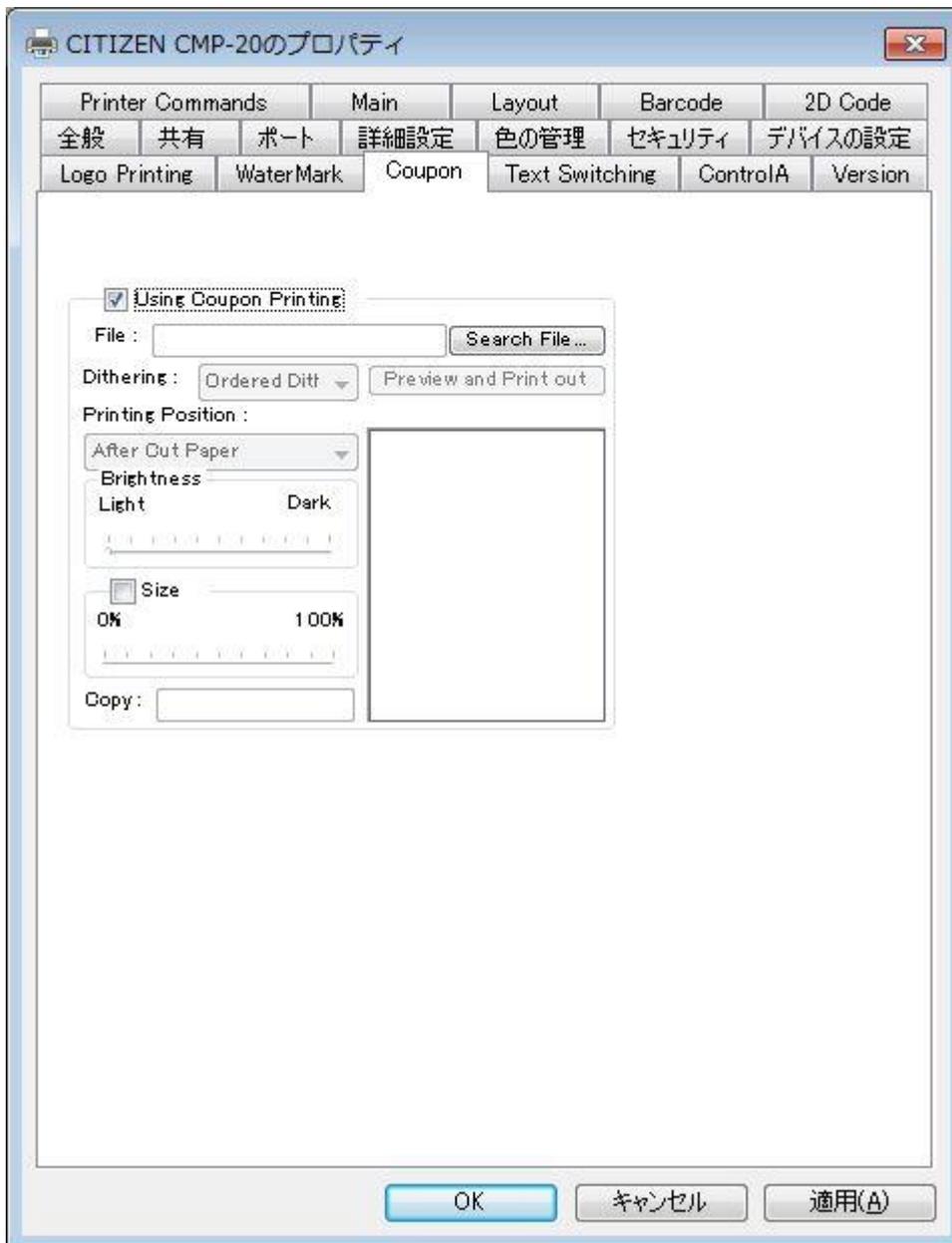


## 5-1-7 すかし印字設定



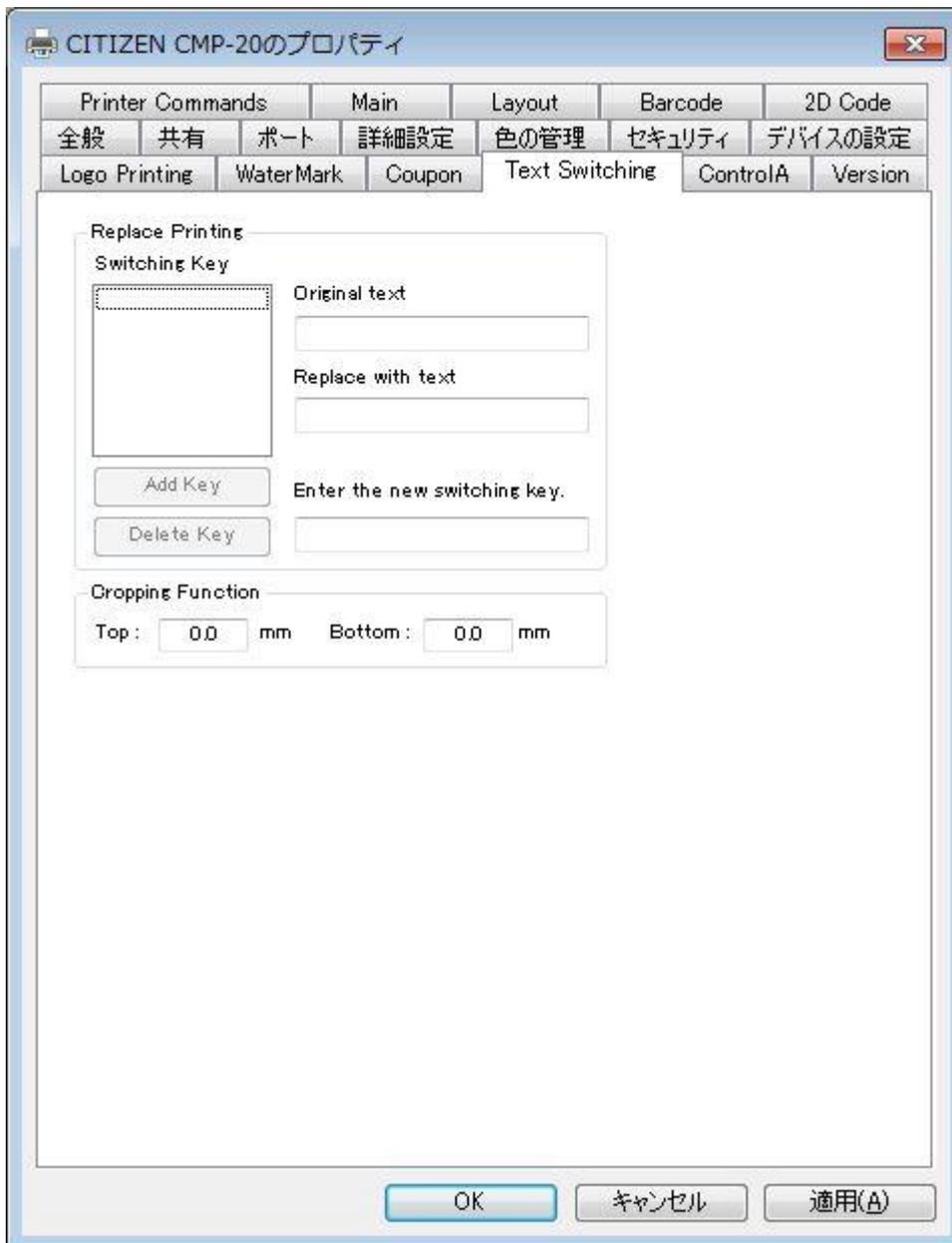
すかし印字に使うビットマップファイルを選択し、印字位置、濃度、サイズを指定します。

## 5-1-8 クーポン印字設定



ロゴ印刷に似た機能です。外部のBMPファイル、デザインの種類、印刷のタイミング、濃度、サイズを指定します。

## 5-1-9 文字置き換え

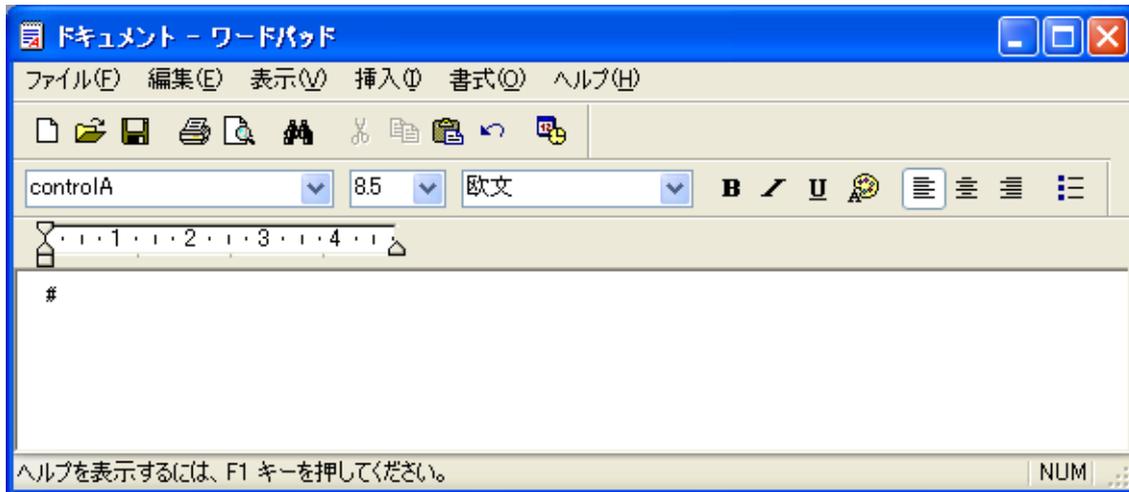


印刷データの中に出てくる文字を指定した文字に置き換えます。  
使用に際しては制限があります。

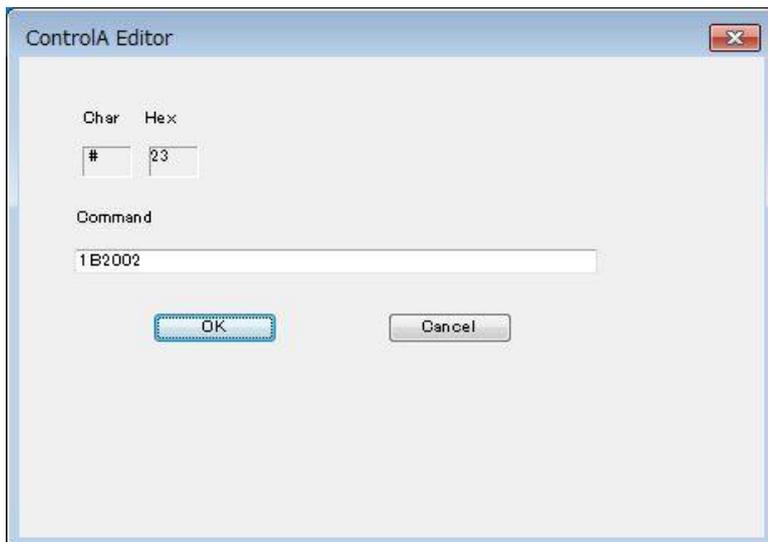
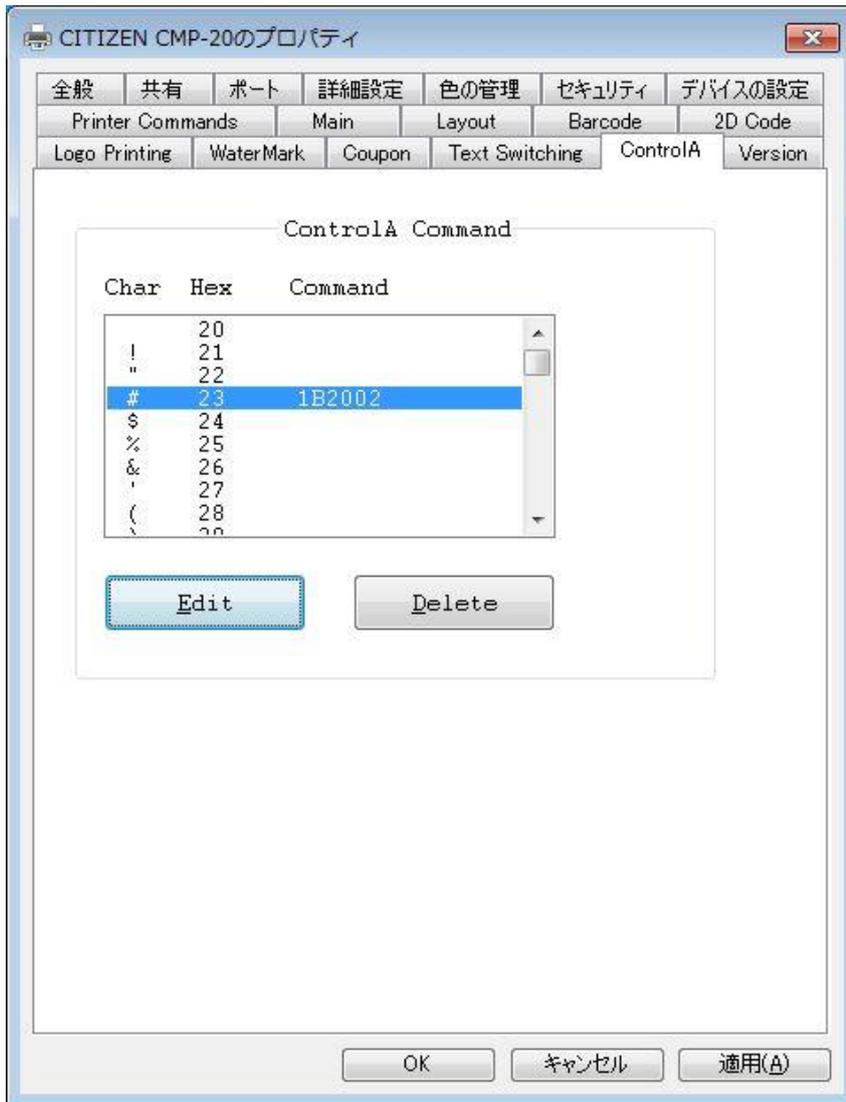
### 5-1-10 ControlA

この機能は、controlAというデバイスフォントの個々の文字にコマンドの実行を定義し、その文字を印刷する際に、そのコマンドが実行されます。

古いWindowsのワードパッドであれば、フォント名でcontrolAと指定できます。



例えば、上記のcontrolAフォントで#という文字を印字すると、その文字に定義されたコマンドが実行される。個々の文字へのコマンドの定義もドライバーのプロパティ画面から可能になっています。



## 5-2 ドライバーのデバイスフォント

### 5-2-1 文字用フォント

本ドライバーは以下の印字用デバイスフォントをサポートしています。

これらのドライバーを使うことで高速な印字が可能です。

フォント名	サイズ(ドット)	サイズ(ポイント)	詳細
FontA11	(24 X 24)	8.5	縦1倍横1倍サイズのフォントA
FontA12	(24 X 48)	17	縦1倍横2倍サイズのフォントA
FontA21	(48 X 24)	8.5	縦2倍横1倍サイズのフォントA
FontA22	(48 X 48)	17	縦2倍横2倍サイズのフォントA
FontA24	(48 X 96)	34	縦2倍横4倍サイズのフォントA
FontA42	(96 X 48)	17	縦4倍横2倍サイズのフォントA
FontA44	(96 X 96)	34	縦4倍横4倍サイズのフォントA
FontA48	(96 X 192)	68	縦4倍横8倍サイズのフォントA
FontA84	(192 X 96)	34	縦8倍横4倍サイズのフォントA
FontA88	(192 X 192)	68	縦8倍横8倍サイズのフォントA
FontB11	(24 X 24)	6	縦1倍横1倍サイズのフォントB
FontB12	(24 X 48)	12	縦1倍横2倍サイズのフォントB
FontB21	(48 X 24)	6	縦2倍横1倍サイズのフォントB
FontB22	(48 X 48)	12	縦2倍横2倍サイズのフォントB
FontB24	(48 X 96)	24	縦2倍横4倍サイズのフォントB
FontB42	(96 X 48)	12	縦4倍横2倍サイズのフォントB
FontB44	(96 X 96)	24	縦4倍横4倍サイズのフォントB
FontB48	(96 X 192)	48	縦4倍横8倍サイズのフォントB
FontB84	(192 X 96)	24	縦8倍横4倍サイズのフォントB
FontB88	(192 X 192)	48	縦8倍横8倍サイズのフォントB
Japanese11	(24 X 48)	8.5	縦1倍横1倍サイズの日本語フォント
Japanese12	(24 X 48)	17	縦1倍横2倍サイズの日本語フォント
Japanese21	(24 X 96)	8.5	縦2倍横1倍サイズの日本語フォント
Japanese22	(48 X 48)	17	縦2倍横2倍サイズの日本語フォント
Japanese24	(48 X 96)	34	縦2倍横4倍サイズの日本語フォント
Japanese42	(48 X 192)	17	縦4倍横2倍サイズの日本語フォント
Japanese44	(96 X 96)	34	縦4倍横4倍サイズの日本語フォント
Japanese48	(96 X 192)	68	縦4倍横8倍サイズの日本語フォント
Japanese84	(96 X 384)	34	縦8倍横4倍サイズの日本語フォント
Japanese88	(192 X 384)	68	縦8倍横8倍サイズの日本語フォント

## 5-2-2 バーコード・二次元バーコード用フォント

本ドライバーは以下のバーコードフォントをサポートしています。

バーコードフォントを選び、バーコードのタイプに合わせて必要なデータを入力すれば、バーコードが印字できます。

### バーコード

フォント名	フォントサイズ(ポイント)	詳細
Codabar(NW7)	18/35.5/53/71	Codabar
Code128	18/35.5/53/71	Code 128
Code39	18/35.5/53/71	3 Of 9
Code93	18/35.5/53/71	Code 93
ITF	18/35.5/53/71	Interleaved 2 of 5
JAN13(EAN13)	18/35.5/53/71	JAN(EAN)13
JAN8(EAN8)	18/35.5/53/71	JAN(EAN)8
UPC-A	18/35.5/53/71	UPC-A
UPC-E	18/35.5/53/71	UPC-E
Barcode1-8	28.5	定義されたバーコード

### 二次元バーコード

フォント名	フォントサイズ(ポイント)	詳細
PDF417	8.5	Codabar
QR Code	8.5	Code 128
2D-Code1-8	8.5	定義された二次元バーコード

Barcode1-8と2D-Code1-8については、5. 4章、5. 5章を参照ください。

### 5-2-3 特殊機能用フォント

本ドライバーは下記の文字をControlフォントで印字することでそれぞれの特殊機能を実現します。

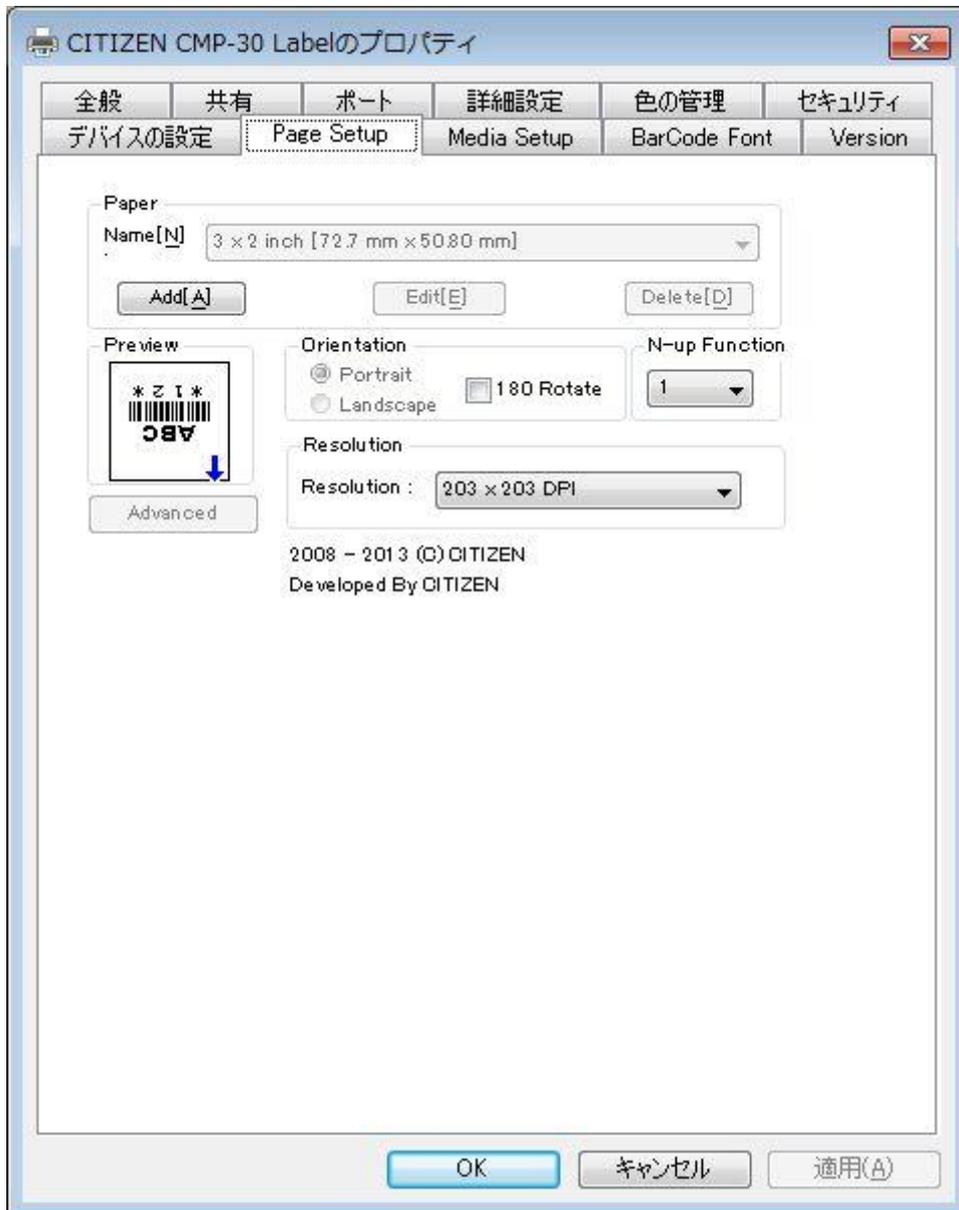
それぞれの文字は文字としては印刷されません。

文字	機能
5	水平タブ (HT)
6	改行 (LF)
7	印字 (CR)
p	バーコードといっしょに可視コードを印字しない
q	バーコードの上にフォントAで可視コードを印字
r	バーコードの下にフォントAで可視コードを印字
s	バーコードの上にフォントBで可視コードを印字
t	バーコードの下にフォントBで可視コードを印字
u	スムージングを有効
v	スムージングを無効
w	文字を左揃え
x	文字をセンター揃え
y	文字を右揃え
G	NVメモリー登録された1番のデータを通常印字
H	NVメモリー登録された2番のデータを通常印字
I	NVメモリー登録された3番のデータを通常印字
J	NVメモリー登録された4番のデータを通常印字
K	NVメモリー登録された5番のデータを通常印字
[	NVメモリー登録された1番のデータを4倍印字
]	NVメモリー登録された2番のデータを4倍印字
^	NVメモリー登録された3番のデータを4倍印字
_	NVメモリー登録された4番のデータを4倍印字
`	NVメモリー登録された5番のデータを4倍印字

## 6、Label用ドライバー (CPCL)

### 6-1 ドライバーの機能

#### 6-1-1 Page Setup.

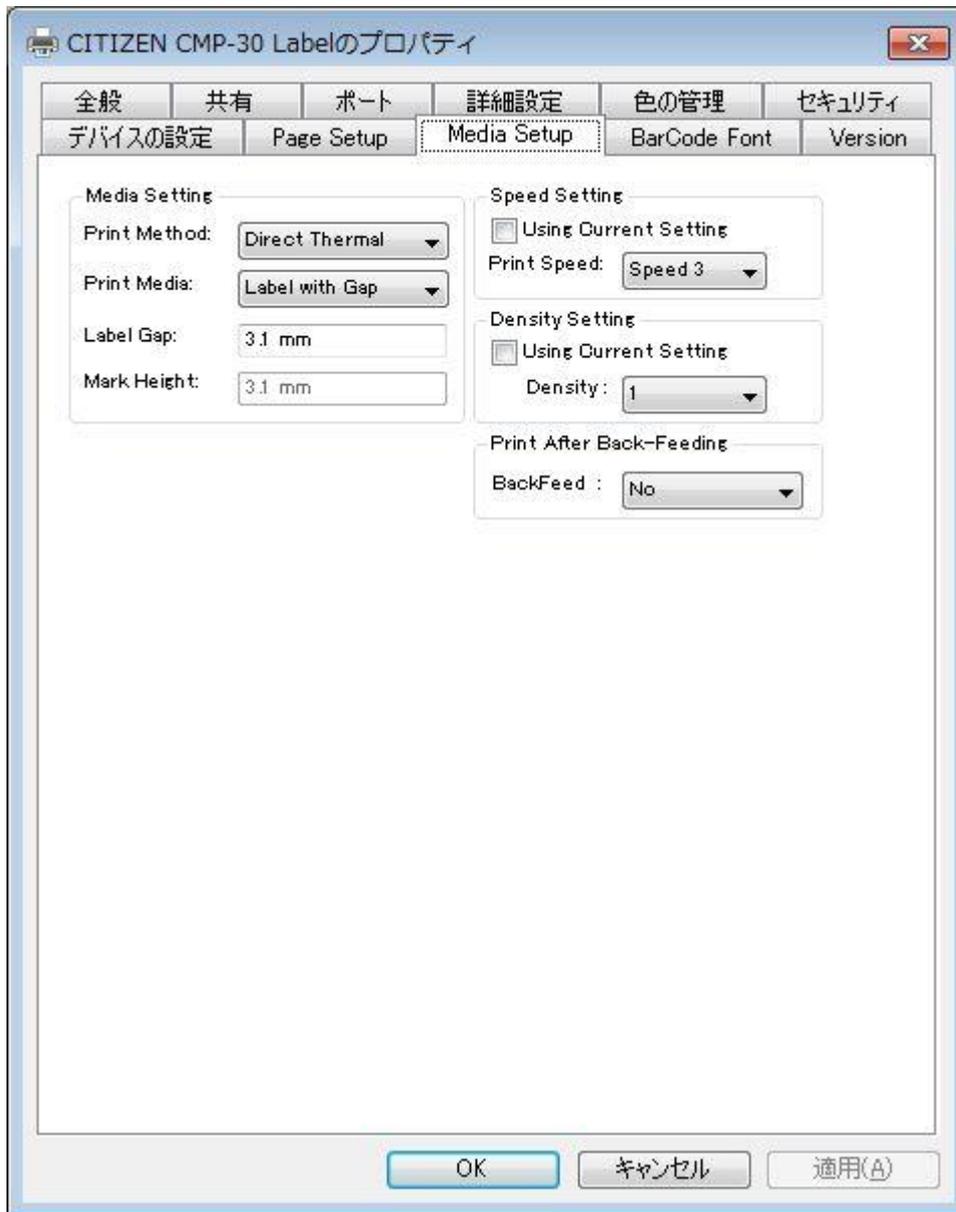


用紙サイズの追加がこのドライバーのプロパティ画面から可能です。

ここで必要に応じて新しい用紙サイズを追加すると、印字の際にその用紙サイズを簡単に使うことができます。

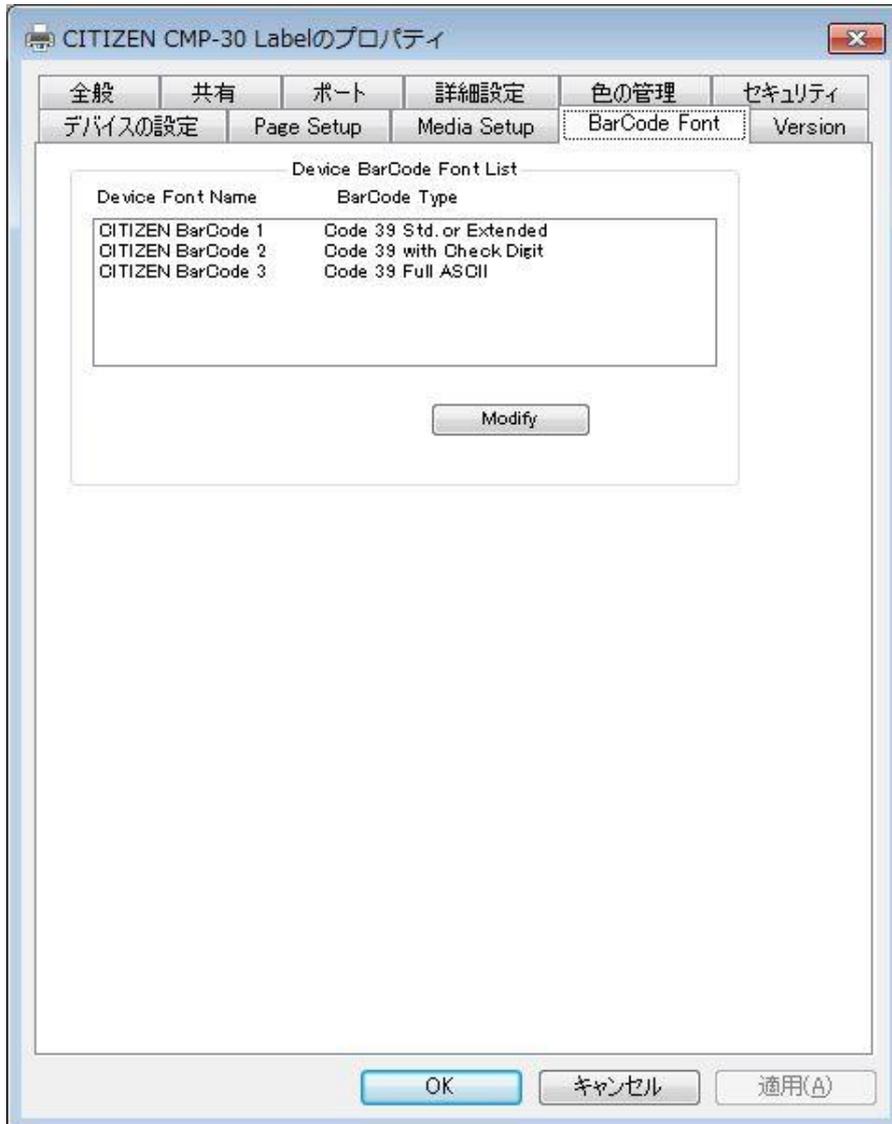
N-up Functionにより2列、3列印字が可能です。

## 6-1-2 Media Setup.

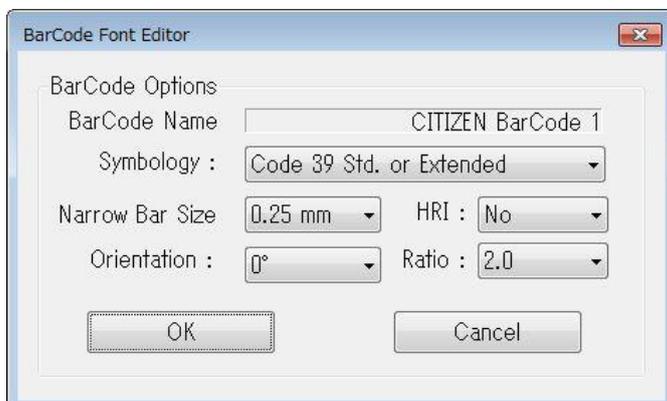


印字スピードと濃度をMedia Setupタブ画面にて設定可能です。。

## 6-1-3 Barcode Font Setup.



**Barcode** フォントをリストから選び、詳細を設定することが可能です。



バーコードの種類は、Symbologyのリストから選びます。

## 6-2 デバイスフォント

### 6-2-1 文字フォント

- ドライバーは以下のデバイスフォントをサポートしています。
- デバイスフォントを使うとグラフィックに比べ印字が高速になります。

フォント名	サイズ(WxH) (Dot)	サイズ (Point)	詳細
CITIZEN Font0-0	8 x 9	8.5	基本デバイスフォント
CITIZEN Font0-1	16 x 9	8.5	横2倍拡大
CITIZEN Font0-2	8 x 18	17	縦2倍拡大
CITIZEN Font0-3	16 x 18	17	横2倍縦2倍拡大
CITIZEN Font0-4	32 x 18	17	横4倍縦2倍拡大
CITIZEN Font0-5	16 x 36	34	横2倍縦4倍拡大
CITIZEN Font0-6	32 x 36	34	横4倍縦4倍拡大
*CITIZEN Font1-0	? x 48	34	基本デバイスフォント
CITIZEN Font2-0	20 x 12	68	基本デバイスフォント
CITIZEN Font2-1	20 x 24	68	縦2倍拡大
*CITIZEN Font4-0	? x 47	8.5	基本デバイスフォント
*CITIZEN Font4-1	? x 94	8.5	縦2倍拡大
*CITIZEN Font4-2	? x 45	17	基本デバイスフォント
*CITIZEN Font4-3	? x 90	17	縦2倍拡大
*CITIZEN Font4-4	? x 180	17	縦4倍拡大
*CITIZEN Font5-0	? x 24	34	基本デバイスフォント
*CITIZEN Font5-1	? x 48	34	縦2倍拡大
*CITIZEN Font5-2	? x 46	34	基本デバイスフォント
*CITIZEN Font5-3	? x 92	68	縦2倍拡大
CITIZEN Font6-0	28x27	68	基本デバイスフォント
CITIZEN Font7-0	12x24	68	基本デバイスフォント
CITIZEN Font7-1	12x48	68	縦2倍拡大

\* = プロポーショナルフォント

### 6-2-2 バーコードフォント

- ドライバーは下記のデバイスバーコードフォントをサポートしています。
- バーコードのタイプに合わせてバーコードフォントを選び、印字するデータを指定してください。

バーコードフォント名	フォントサイズ(Point)	詳細
CITIZEN Barcode 1	8 ~ 72	バーコードデバイスフォント
CITIZEN Barcode 2	8 ~ 72	バーコードデバイスフォント
CITIZEN Barcode 3	8 ~ 72	バーコードデバイスフォント